

新任職員研修 ~新任の局長と共に、兵庫の赤十字の新しい仲間が180人!~



藤原局長の挨拶を聞く新任職員の皆さん

4月3日(火)、兵庫県支部で平成24年度の新任職員研修が行われ、全施設併せて180人の新任職員が、支部の大会議室をぎっしりと埋め尽くしました。

始めに今年度、兵庫県支部の事務局長に就任した藤原 雅人事務局長からの挨拶を全員緊張の面持ちで聞きました。「私も皆さんと同じ新任です。一緒に頑張ってください。」と、皆を励ました。

研修では、赤十字概論、赤十字の事業や血液事業の講義、社会人としてのビジネスマナーなどを学びました。

東日本大震災の影響もあり、災害救護への関心も高く、「赤十字の職員としての自覚を持って頑張りたい。」「誇りと責任を持って仕事をしていきたい。」「多くの人々のいのちと健康、尊厳を守りたい。」「等の抱負を胸に、それぞれが「赤十字」の一員としての第一歩を踏み出しました。

赤十字活動指導講師委嘱式・研修会

4月10日(火)、兵庫県支部で赤十字指導講師委嘱式・研修会を行いました。

指導講師とは、地区・分区の赤十字活動や奉仕団活動、青少年赤十字活動等の推進を図り、それぞれの行う研修会などの際には、ボランティア活動等についての指導や助言をするといった、赤十字活動について深い知識を持った方々です。

今年度は、市橋勲氏、黒川行信氏、岡野俊昭氏、藤原三樹二氏、山口節夫氏、中島健治氏に委嘱することになり、出席のあった方々へ、藤原局長が委嘱状の交付を行いました。

研修会では、平成23年度の兵庫県支部の活動や、東日本大震災での赤十字活動の記録映像を見ていただきました。



藤原局長から委嘱状を交付

講習のご案内 ~健康で安全な生活を送る知識と技術を~

ようやく暖かくなり、外で活動する機会も増えてきますね。外出中にもケガや病気に遭遇するかもしれません。

そんな時、まず自分の身を守り、落ち着いてケガ人や病人を正しく救助するための知識と技術を知っておくために、ぜひ受講してみてください。

日本赤十字社は、皆さまが健康で安全な生活を送るためのお手伝いができるよう、救急法等の普及活動に努めています。

内容		開催日
救急法基礎講習		7月 2日(月) 7月31日(火)
救急法救急員養成講習(2日間)		6月23日(土) 24日(日)
救急法基礎・救急員養成講習(セット講習 3日間)		6月 9日(土) 10日(日) 16日(土) 7月 1日(日) 7日(土) 8日(日)
幼児安全法支援員養成講習(2日間)		7月28日(土) 29日(日)
健康生活支援講習(3日間)		6月17日(日) 23日(土) 24日(日) ※この講習は姫路赤十字病院主催です。
科目別講習	幼児安全法	こどもに起こりやすい事故の予防と手当について 7月21日(土) 10:00~12:00
	救急法	こどもの一次救命処置 7月21日(土) 13:00~15:00
	救急法	きずの手当 7月21日(土) 15:30~17:30

講習会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

なお、姫路赤十字病院主催分に関するお問い合わせは☎079(294)2251(社会課)まで。

詳細及びその他の講習についてはホームページで。

www.hyogo.jrc.or.jp

赤十字 兵庫

検索

ひょうごの赤十字

2012 May 5月

赤十字運動月間

- 被災地宮城の学校へベルマークを送ろう!
- 青少年赤十字春季リーダーシップ・トレーニングセンター
- おめでとう!看護師国家試験に全員合格!
- インドネシア人看護師候補者サルティカさん看護師国家試験合格
- 新任職員研修
- 赤十字活動指導講師委嘱式・研修会
- 講習のご案内



 日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

5月は赤十字運動月間です ～赤十字は皆さまの身近で活動しています～



赤十字では、毎年5月を赤十字運動月間として、広く皆さまに赤十字活動を知っていただき、ご支援とご協力をお願いしています。

皆さまからお寄せいただいた活動資金は、災害救護等の活動のほかにも、兵庫県内の交番・派出所には救急箱を、また心拍停止例の救命率向上のため、県内の警察施設にはAEDを設置するなど、皆さまの身近な「いのちと健康を守る」活動にも活かされています。

月間中は、皆さまの地域の赤十字奉仕団や自治会、婦人会の方々が社資募集活動を行います。赤十字活動をご理解いただき、ご協力をお願いします。

直接ご協力いただく場合は、「郵便振替」でお願いします。

口座記号番号：01110-0-1136
 口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部
 (窓口振込による手数料は免除されます。)

◇活動資金に関するお問合せ



078-241-8921 (兵庫県支部 振興課)

お電話で

被災地宮城の学校へベルマークを送ろう!

兵庫県立国際高等学校青少年赤十字部は、昨年8月に宮城県を訪問しました。その際、宮城県水産高校と交流し、多くのことを教わりました。そしてこれからも自分たちにできることをやっていきたいという強い思いから、高等学校青少年赤十字協議会例会で、赤十字職員や加盟校の生徒から被災者支援の活動報告を聞くなどして、取組みを考えました。継続的にでき、なおかつ児童・生徒でもできることとして、ベルマークの収集をすることとしました。

学校で使える物がベルマークに付いている点数で買うことができる。それは被災した学校への支援に繋がると、同校から各加盟校へ呼びかけました。

その結果、20校にのぼる学校・園の協力を得て、4月4日、青少年赤十字部顧問である住野日出世先生が、石巻港から北へ1kmほどにある、石巻市立大街道小学校へ直接届けました。

まだまだ支援が必要な被災地に対し、このベルマークを送る運動は継続されますので、皆さまのご協力をお願いします。



ベルマークを届けた住野先生

青少年赤十字春季リーダーシップ・トレーニング・センター

3月24日(土)から26日(月)まで、明石市立少年自然の家で、兵庫県高等学校青少年赤十字春季リーダーシップ・トレーニング・センターを開催しました。

県内7校から青少年赤十字メンバーのほか指導者、神戸青年赤十字奉仕団員、姫路赤十字看護専門学校学生奉仕団員、兵庫県青少年赤十字賛助奉仕団員等40人が参加しました。

今回のテーマは「救急法」。AEDを使った心肺蘇生やきずの手当の方法、担架搬送などを3日間しっかりと練習しました。そして最終日、「15分間で救急法をPRする」と題してグループワークを行い、各グループで発表し、3日間の練習の成果を全員で確かめました。

トレーニング・センターは、青少年赤十字の態度目標「気づき・考え・実行する」を基本とした団体生活です。始めは慣れないメンバーたちも、終わる頃には「みんなが態度目標を意識して生活していると過ごしやすかった」、「日常生活でも応用できそう」といった感想が出るほどに。

学校や学年の違うメンバーが同じ目的を持って生活することで、友達の輪も広がり、楽しく多くのことを学ぶことができました。



傷病者発見、みんなで力を合わせて救助!

おめでとう!看護師国家試験に全員合格!

～姫路赤十字看護専門学校 111回生～



発表の瞬間、ヤッター!全員合格!

3月26日(月)、第101回看護師国家試験の合格発表がありました。今年の全国合格率は90.1%。そんな中、46名全員が合格することができました。

今回の国家試験は、平成21年度から始まった新カリキュラムで新設にされた統合分野が、どのように出題されるのか注目されました。大きな特徴は、認知症や在宅関係など高齢化社会を反映した問題が多く見られたことです。

学生たちは「国家試験」という不安と緊張の中、「絶対に全員で合格したい」と、お互いに問題を出し合ったり、特別講義を受け、納得いくまで学習していました。

111回生は、「状況が変わっていく中で、行動しつつ考えられる看護師」を育成したいという教員の願いのこもった新カリキュラム1年目の卒業生です。

皆で合格したという喜びと同時に看護師になるという責任を自覚し、4月から看護師として頑張りたいと思います。

インドネシア人看護師候補者サルティカさん看護師国家試験合格

EPA協定による姫路赤十字病院看護師候補者のシダブタール・サルティカさんが、4度目の挑戦で見事看護師国家試験に合格しました。

4年前、家族を母国に残して第1陣として来日し、勤務中は、明るい笑顔と一生懸命な姿、そして、母親としての愛情を患者家族に惜しみなく注いでこられました。合格の報告を受け、受け持ちの患者さんが涙を流されたのも、日頃のケアの賜物。

昨年、同期のスワルティさんが合格したことに刺激を受け、今まで以上に寝食を惜しみ勉強されました。しかし、院内外の皆さんの協力や支援がなければ、最後まで頑張れなかったかもしれません。

4月1日から、本人の希望もありICUで新人看護師として勤務しています。日本語のマスターや看護技術の習得など、これからが本当の試験だと思いますが、持前のガッツで乗り越えることを期待しています。 ※EPA協定…日本・インドネシア経済連携協定



喜びいっぱいの笑顔のサルティカさん